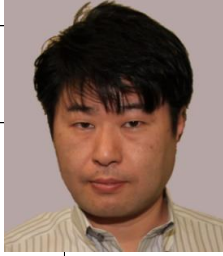





A3 文化財

司会	司会 田子寿文	3DNetworkJapan 代表 【(株)アイテック】
		[発表概要]
		[自己紹介] 2008年に3Dコミュニティ「3DNetworkJapan(通称:3DNJ)」を全国の技術者有志とともに発足。第一線で国内の3D計測業務に携わる一方、3DNJ代表としてイベント出展や講演・勉強会など、3D計測技術の利活用についてのPR活動をおこなっている。

1	大島孝博	栃木県上三川町教育委員会 生涯学習課 主事
		[テーマ] 文化財専門職員としての三次元計測への取り組み
		[発表概要] 私が発掘現場で三次元計測と出会ってから、今年で10年になります。この10年で、文化財の三次元計測はより身近なものとなり、文化財を取り巻く情勢は、保存から活用へとシフトしてきています。私のこれまでの文化財の三次元計測への取り組み事例を踏まえながら、文化財担当者が三次元計測に求めるものについて私見を述べたいと思います。
		[自己紹介] 2005年、國學院大学文学部史学科考古学専攻卒。2007年から、石川県の(株)地域みらいにて文化財の三次元計測に従事。退社後、茨城県教育財団にて発掘調査員の職を経て、2014年から現職。文化財担当職員として職務に従事。3DNetworkJapanメンバー

2	志村 将直	株式会社 シン技術コンサル 文化財調査部 主任技師
		[テーマ] 文化財関連事業における、3次元計測の利用と発展性
		[発表概要] 弊社文化財調査部では、ベントレー・システムズ社のマイクロステーションをベースに、発掘調査現場や報告書作成の利便性の向上を目的とした遺跡管理システムⅡの提供を行っている。 遺跡管理システムⅡは、レーザースキャナやUAVを利用したSMFにより取得した3Dデータとの互換性も向上している。 既存の文化財事業の枠にとらわれず、3Dを利用する事による発展性を伴った弊社取組に関して事例を交えて紹介する。
		[自己紹介] 2004年 株式会社シン技術コンサル文化財調査部入社。画像解析を中心に文化財調査の3次元計測、図化業務を行う。2014年から3DNetworkJapanに加入

3	横山 薫	株式会社 三重計測サービス 代表取締役
		[テーマ] 実践！ドローン利活用(LSとSfMのハイブリッド解析やサーモ、マルチスペクトル)
		[発表概要] ドローンで何が出来る？SfMの精度は？高価なドローンじゃなくても仕事に使える?? 3次元計測サービスを専門としている三重計測サービスが、レーザースキャナやドローンを使って 様々なものを撮影・計測。 地形、構造物、文化財、インフラの維持管理など、実際に行った業務をドローンに焦点を当てて御紹介いたします。
		[自己紹介] レーザースキャナによる計測・解析に12年前から携わり、リバースエンジニアリングソフトウェア「REVGEO」の開発者・特許取得 2012年三重計測サービスを起業し、レーザースキャナによる計測サービスと共にUAVの製作、写真計測業務を行っている。